



このとい通信

排卵誘発剤で流産しやすくなるって本当？

妊娠したくて薬を使っているのに、流産率が上がってしまっている！そんな矛盾に苦しむ患者さんの悩みを、田園調布クリニックの河村寿宏先生に聞きほぐしていただきました。

クロミッドでの排卵誘発でAIHをしたけど生理が来てしまい、診察をしに病院へ行きました。そこで以前から気になっていた、
「人工授精でできた赤ちゃんは、自然にできた赤ちゃんより流産しやすいのですか？」と質問したところ、「当然、誘発剤を使っている分、染色体異常が出やすいので流産は多いです。」と言われました。
私は誘発剤を使わなくても排卵はしていたのですが、年齢的なことと確率を高くするために薬を使っていたので、
「薬を使わずにAIHをするのはダメなのでしょうか？」と聞いたところ、
「妊娠の確率が減りますよ」
「でも薬で流産が増えるのであれば……流産はしたくないです」
「流産するのが嫌なら、不妊治療はやめたほうがいい」と言われてしまいました。
不妊治療して生理が来るたびに悲しい思いをしているのに、流産してし

まうのはそれ以上につらいことと思えるのですが、それでも不妊治療はするべきなのでしょうが？

信頼関係あつての不妊治療。だから言葉一つも大事に

「言葉が足りないことで、こういった誤解を招いてしまったのではないのでしょうか」

と語る河村寿宏先生。
「実際、一般の方が考えている以上に、流産というのは頻度が高いのです。だからある程度の覚悟はしておかざるをえない。そのようなことを担当の医師は言いたかったのではないのでしょうか。ですが言葉が足りず、こういう誤解を生んでしまったのでは」

不妊治療をしている、していないに関わらず、流産は10〜15%の確率で起こってしまうもの。クロミッドの服用で流産率はわずかに上がる傾向にあるものの、妊娠率が上がるメリットの方が大きいので、この場合治療法としては決して間違っていないと言います。

「ただその説明が足りなかつたため、治療法に矛盾を感じて悩んで



しまったようですね。こういった誤解を生まないために、言葉一つひとつに気を配ることも、医師の務めだと思っと思っています」

妙泉堂薬局からのアドバイス

クロミッドやHMGなどの排卵誘発剤で妊娠した場合の流産率は自然妊娠した場合の約1.5倍と言われていきます（アメリカ、ヨーロッパのデータ）。また、人工授精の際に自然周期よりクロミッドを内服した方が約1.5倍妊娠率が上がるとされています。

クロミッドなどの排卵誘発剤による流産率の上昇は、中医学では痰湿（水毒の一種）とお血（血流傷害）によると考えています。ですから排卵誘発剤を使用して妊娠できた場合は、この痰湿を取って（化痰）、血流を良くする漢方薬（化痰活血薬）を流産予防として服用します。また、予め染色体異常を予防するために紫河車や鹿茸などの補腎薬や葉酸を服用しておくことも重要です。
当店でも多量胞性卵巣などで排卵誘発剤と漢方薬を併用して不妊治療をされているお母さん方に、これら漢方薬を服用していただいておりますが、流産率が高いと感じたことは一度もありません。ほとんどの方が無事に出産を迎えられています。

ずばり、そこが知りたい マカって不妊に効くの？

「マカ」は「子宮に恵まれる魔法のサプリメント」のようにいわれているけれど、本当のところはどうなの？

― 気になっていてる人のため、マカについてリポートします。

マカってそもそも何ですか？

マカはアブラナ科の植物です。栄養バランスのすばらしさから「完全食」といわれ、三千年余りの年月、アンデスの人々によって受け継がれてきました。マカは、ペルーのアンデスの標高3800m以上の高地という厳しい環境で、ほとんど人の手を借りずに育ちます。厳しい環境下であるからこそ、生きるために植物が持ちうる最大限の力を駆使し、その環境にあらん限りの栄養素を精いっぱい取り込んで成長するのです。生命力にあふれ、栄養価も高いマカは、現地ペルーでは、栄養補強食品として子どもからお年寄りまで広く親しまれています。そして、彼らは元気でいつまでも若々しいのです。

マカが体に合う人、合わない人がいるのはなぜ？

マカは、そもそも野菜なので、副作用などはないといわれています。しかし、マカを服用した人の中には、おなかやゆるくなる、体に合わないと感じる人もいます。この「合わない」というのは、マカを効果的に受け入れられる体質か、受け入れにくい体質かの違いなのだそう。決して副作用のせいではないので、安心して飲んで大丈夫。けれども、

最近ではさまざまなメーカーからマカが販売されるようになり、質もそれぞれ違ってきています。高いものが良い、安いものが悪いとは一概にいえませんが、インターネットなどで手軽に買える、安く買えるなどと喜んで飛びつく前に、どのような製造過程を経て作られた製品なのか、厳しい目で判断する必要があります。

ずばり、マカは不妊に効果があるので すか？

マカの効能については、現在大学機関の協力を得つつ、調査が進められています。まだすべてが解明されたわけではありませんが、マカにはホルモン系や免疫系など人間が生きていくのに大切な基本機能を高め、総合的に体調を整える働きがあるといわれています。例えば、マカに多く含まれるリジニンには女性の生殖機能を活性化し受胎環境を整える作用が。また、男性生殖器細胞の80%を構成し、精子を活性化させるといわれているアルギニンも含まれています。そのため、ペルーでは、ホルモン剤よりマカをすすめる医師もいるようです。マカは野菜なので、薬のように直接作用するものではありませんが、ホルモンの過不足を整え、人間が本来持つべき最適な体内環境に近づけてくれるのです。



良いマカ、悪いマカってあるのですか？

品質の悪い製品には2種類あって、マカにトウモロコシパウダーや黒砂糖などを混ぜた

粗悪品と、野菜としての品質が劣っているマカを製品化したものがあります。購入の際には、値段や社名に惑わされず、十分に注意を払うべきでしょう。良いマカとは、適切な土壌で無肥料、無農薬で作られた栄養価が高いもの。製品として加工される過程が安心できるかどうかも重要です。これらの点にメーカーがどれほど力を入れているか、みなさんの目で、しっかりと見極めてください。

妙泉堂薬局のお奨めはこれだ！

中医学ではマカは「大熱薬」というジャンルに入ります。大熱薬とは強く身体を温める働きというところで、冷えをベースに持っている方には最適です。逆に言うと、ほてり性や暑がりの人には不向きということになり、この体質の人が長くマカを服用すると、下痢や軟便、皮膚の痒み、多汗、不眠などの症状が出る場合があります。

体質に合えば、女性では卵質が良くなった、生理不順が解消したりと良い効果が期待できます。男性でも精子の状態が良くなった、精力がついてインポテンツが解消したりと、男女ともに効果が実感できます。

妙泉堂薬局ではバイオ・ナサ社の「マカパワー100」をお奨めしています。マカパワー100は日本で初めて輸入されたもので、他成分を含まない100%純度のものです。価格はき包入り(40日分)が895円です。

